



Center of Japan  
36° 02' 00" N 138° 02' 00" E

日本のど真ん中  
信州辰野町

# たつのまち 議会 だより



辰野町イメージキャラクター  
びっかりちゃん



辰野町議会

編集・辰野町議会広報編集委員会  
発行・辰野町議会  
発行日・令和4年11月1日

## 令和4年9月定例会開催 特集 女性タウンミーティング報告 議会アンケート結果①

7月臨時会・9月定例会報告	2
総務産業常任委員会レポート	4
福祉教育常任委員会レポート	6
女性タウンミーティング報告	8
議会アンケート結果①	9
一般質問	10
町民の声	16



写真 いいまちたつの知らせ隊 令和3年11月13日撮影

# 7月第5回臨時会・全議案可決

会期 7/22、2 議案・一般会計補正予算他

○オリンパス(株)新工場の建設計画変更に伴い、排水管工事等の増工、日照不足農地の取得及び環境整備等に要する費用 4,050 万円を追加支出するため増額補正。

# 9月第6回定例会・全議案可決

会期 8/30～9/16、決算、補正予算等 19 議案 他

## 総額178億円 令和3年度決算を認定

－ コロナ・南小改修・災害復旧等で過去 2 番目の規模 全会計黒字 －

### 決算概要

区分	歳入	歳出	形式収支
一般会計	107 億 7,549 万円	101 億 3,655 万円	6 億 3,894 万円
特別会計（国保他）	79 億 1,270 万円	76 億 6,470 万円	2 億 4,800 万円
合計	186 億 8,820 万円	178 億 127 万円	8 億 6,693 万円

\*特別会計のうち上水、下水、病院会計は、収益的収支額（税抜き）を集計。千円単位四捨五入のため、合計は一致しません。

○各会計の財政健全化判断指標は、すべて健全の範囲でした。

○企業会計を除く各基金の残高合計は、前年度に比べて 3 億 2,103 万円、8.8%増えました。

### 一般会計歳出に関する主な質疑

（特別会計は、各常任委員会のページをご覧ください。）

#### ■民生費

**問** 福祉タクシー券と福祉灯油購入助成券の対象者数は。

**答** 福祉タクシーは 290 名、灯油購入券は 689 世帯。



福祉タクシー券・灯油券

**問** 障がい者自立支援給付費事業の対象者は。

**答** 延べ 3,302 名。居宅介護や生活介護などが対象になる。

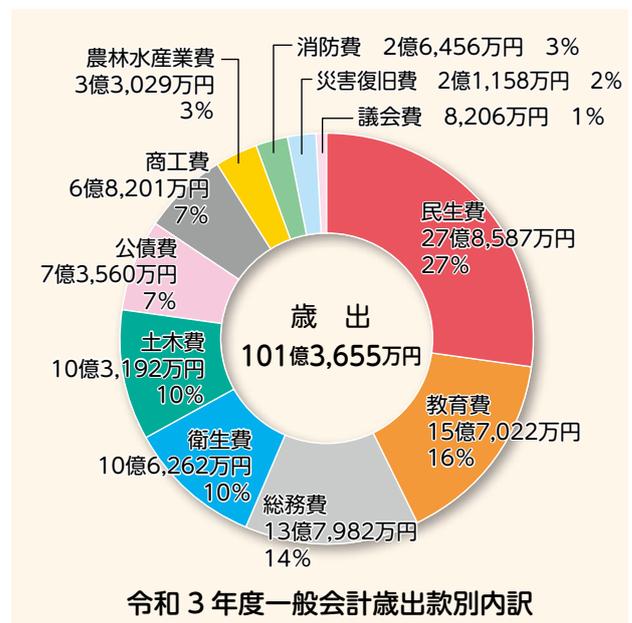
**問** 被災者生活支援金の内容は。

**答** 半壊に 25 万円、準半壊に 18 万 5 千円から 18 万 7 千円。県が 2 分の 1 補助。

#### ■教育費

**問** 学校への訪問看護はどのような病気が対象か。

**答** 経管栄養、酸素吸入など、医療ケアが必要な子どもを想定。



**問** 準要保護の所得基準は。

**答** 令和3年度は生活保護世帯所得の 1.2 倍、令和4年度は 1.3 倍。

**問** 127 名の準要保護児だが、今後増えていくのか。

**答** 全児童の 14%位が対象で、推移は変わらない。

**問** 美術館維持管理の今後の大きな課題は。

**答** 美術品の収蔵場所確保が課題。

■総務費

問 防災無線が聞き取れないエリアがあるが。

答 スピーカー直下では大音量に苦情がある。複合的な情報発信方法を研究していく。

問 庁舎エレベーター設置費の資金は。

答 数年の積立で準備する予定。

問 パークホテル指定管理者の問い合わせは。

答 数社ある。

問 空き家改修の補助を受けるには。

答 まずは空き家バンク登録が必要。



防災無線

■土木費

問 各区の道路改良要望に対して、どの程度実施できているのか。

答 区要望約3億円、実施は3千万円程度でおよそ1割。各区公平になるよう優先度をつけている。

■商工費

問 サイクリングロード、辰野の競争力はあるのか。

答 独自の風景を生かしたものが出来るのではと考えている。



■衛生費

問 合葬式墓地の推移は。

答 個別埋葬40件、共同埋葬23件。問い合わせも多数あり、順調に推移している。

問 町のリサイクルセンターが1カ所で、すぐにいっぱいになる。増設の検討は。

答 業者にこまめに回収してもらっている。

■農林水産業費

問 かやぶきの館の修繕費と指定管理料がかなりかかっている。どう考えているか。

答 今後のあり方について、広く意見を聞いていきたい。

その他の主な議案

議案名(要約)	主な内容
R4年度上水道補正予算(第1号)	兎洞水源、穴倉沢配水池等改良工事費を補正
北沢東地区排水管布設工事契約変更	オリンパス(株)新工場建設計画変更に伴う変更
固定資産評価審査委員の選任同意	任期満了となる委員1名の再任 川村和康氏
農業委員の任命同意	欠員1名分の補充 赤羽秀介氏
教育委員の任命同意	任期満了者1名の後任を任命 飯澤隆氏
中の橋補修工事請負契約	7,898万円 落札した小野工業(株)との契約

陳情審査

陳情・請願		委員会 審査結果	本会議 採決	意見書 提出	
陳情 第8号	森友公文書改ざん問題、国会で真相究明を	伊那市高遠町 矢澤 親男	不採択	不採択	なし
	【不採択に反対(向山)】 森友学園問題は、自死した公務員の遺族の損害賠償請求に、国が認諾したため真相究明されていない。国会で虚偽答弁が繰り返されており、国会自ら真相究明すべき。				
	【不採択に賛成(古村)】 森友学園に関する各裁判が継続中であることを踏まえ、引き続き判断は司法に委ねるべきと考える。また、今年3月定例会の採決を翻す新たな材料は見つかっていない。				

【賛否が分かれた議案への各議員の賛否は、以下のとおり(敬称略)】

○陳情第8号 (陳情賛成) 吉沢、向山

(反対) 松澤、山寺、矢ヶ崎、津谷、池田、樋口、舟橋、小澤、小林、古村

# 総務産業常任委員会

事業会計・特別会計決算審査 ～付託議案は全て認定・可決～

9月8日、9日、町長・担当課長出席の下で審査し、12日現場審査を行いました。

## ■議案第2号

令和3年度辰野町上水道事業会計決算について  
管渠（かんきょ）工事は、上辰野地区導水管布設工事ほか3件。老朽施設の更新工事は中央監視システム更新工事など。また、水道料金システムと連携するスマートフォン検針システムを導入し、検針業務効率化を図るなど経費節減に努めた。

- ◆収入総額 4億2,743万円
- ◆支出総額 3億8,639万円
- ◆収支差額 4,104万円の黒字

井出の清水の大型設備更新もあり、令和8年度には収支が赤字となる見込み。

**要望** 電気料高騰や配水管の老朽化の問題もある。料金改定は審議会でしっかり検討を。

## ■議案第3号

令和3年度辰野町下水道事業会計決算について  
建設改良事業として農業集落排水処理施設（沢・辰野北部地区）の接続工事を行い、また、下水道ストックマネジメント計画に基づいた公共下水道区域の管路施設点検・調査を実施。

- ◆収入総額 9億1,225万円
- ◆支出総額 8億3,819万円
- ◆収支差額 7,406万円の黒字

## ■議案第8号

令和3年度辰野町地域情報告知システム特別会計決算について

- ◆歳入総額 1,648万円
- ◆歳出総額 1,429万円
- ◆歳入歳出差引 219万円を翌年度へ繰り越し  
運用開始から10年が経過し、システム切替えに向け、最新の通信インフラに適用したシステムを検討する時期が来ている。

**意見** 数億円を投入し期待された告知システムだったが、広く普及できなかったことを踏まえて今後の方針を検討すべき。

以上、採決の結果、委員全員一致で認定すべきものと決しました。

## ■議案第18号

令和3年度辰野町下水道事業会計 未処分利益剰余金の処分について  
未処分利益剰余金7,405万8,545円を減債積立金に積立てたい。

採決の結果、委員全員一致で可決すべきものと決しました。



## 陳情審査

### ◆陳情第8号

森友公文書改ざん問題、国会で真相究明を（陳情）  
◇趣旨 本年1月28日に辰野町議会に陳情し、3月当議会が不採択とした決議に納得できない。国会で真相究明するよう、辰野町議会に意見書提出を陳情するもの

### ◇審査の主な意見

- ・非常に許しがたい事件だが国が「認諾」し結審している以上、町議会レベルの話ではなく、これ以降は司法の場で進められる。
- ・既に訴訟の口頭弁論は結審し、11月25日に司法判決がくだされる。

採決の結果、賛成はなく不採択すべきものと決しました。

## 現場審査した令和3年度事業はこれ！

- 社会資本整備総合交付金事業  
町道 1076 号線工事（宮木下町）  
事業費：27,643,000 円



道路拡幅と水路改良工事

- 町単道路改良事業  
町道 2203 号線工事（赤羽）  
事業費：3,300,000 円



危険な三叉路を見通し良く改良

- 下諏訪辰野線改良関連事業  
宅地造成工事（平出上町）  
事業費：8,723,000 円



県道拡幅・歩道改良の用地補償

- 町単道路改良事業 伝兵衛井地区水路改修工事（下辰野） 事業費：1,166,000 円



急傾斜道路の用水路老朽化対策とフェンス設置

## 町長への要望

- ◆コロナ感染症拡大の中、町内商工業者に経営再建の更なる支援を要望する。

### 町長

産業振興課内に商工業相談窓口を常設し、企業相談員による相談対応を行っている。10月1日から町プレミアム付き商品券事業と、ほたるマイカードのポイント3倍キャンペーンを4カ月実施する。また、融資支援を金融機関とともに継続する。町内商工業者に寄り添った支援を行う。

- ◆かやぶきの館の今後について、指定管理にこだわらず未来の姿を、指定管理の終了を待たずに早急に研究することを要望する。

### 町長

令和5年度末に指定管理期間が満了となるが、コロナ禍の影響等から災害級の緊急事態とし、厳しい経営状況に対して指定管理料等を追加し、事業継続に努めてきた。今後も物価高騰もあり担当課を中心に役場内に専門部会を組織し、早急に研究に着手する。

- ◆庁舎内の垂直移動が階段のみであり、バリアフリーの観点から庁舎内エレベーターの設置に向けて、今年度中の実施計画策定を要望する。

### 町長

本庁舎は建築から50年近くが経過し老朽化は顕著で、雨漏り等の不具合箇所が発見されている。エレベーター設置で早期に来庁者の利便性を向上したいが、まずは庁舎全体の不具合状態を把握し、優先順位を付けて計画的に改修整備をしていく。



かやぶきの館

# 福祉教育常任委員会

事業会計・特別会計 決算審査 ～付託議案は全て認定～

9月8、9日、教育長、担当課職員出席の下で審査し、12日現場審査を行いました。



**議案第4号**  
令和3年度辰野町国民健康保険特別会計決算について

◆歳入総額 18億1,876万円  
◆歳出総額 18億1,748万円  
◆歳入歳出差引 128万円を翌年度へ繰り越し  
新型コロナウイルス感染症対策として国保税の減免を行ったほか事業主傷病見舞金制度を創設した。被保険者数は平均3,999人、加入率は27.1%。

**問** 滞納者への保険証の交付は。  
**答** 有効期限の短い短期証を交付している。子どもに関しては、半年期限のものを発行している。

**意見** 生活が立ち行かない場合、国民のセーフティネットとして生活保護を受ける権利があることを認識することが必要。

**議案第5号**  
令和3年度辰野町国民健康保険診療所特別会計決算について

◆歳入総額 466万円  
◆歳出総額 428万円  
◆歳入歳出差引 38万円を翌年度へ繰り越し  
診療所は第一診療所と川島診療所で受診者数は前年比21人減で343人。

**議案第6号**  
令和3年度辰野町後期高齢者医療特別会計決算について

◆歳入総額 3億484万円  
◆歳出総額 3億372万円  
◆歳入歳出差引 112万円を翌年度へ繰り越し  
被保険者数は、4,032人で前年度より24人の増加となった。

**問** 普通徴収の比率が高いのでは。  
**答** 一般的には年金からの特別徴収となるため、普通徴収率は低くなる。

**議案第7号**  
令和3年度町立辰野病院事業会計決算について

◆収入総額 23億164万円  
◆支出総額 22億4,939万円  
◆収支差額 5,225万円の黒字  
新型コロナウイルス感染症の影響で受診控えが続いていたが、4月から始まった病院でのワクチン接種で患者数は持ち直した。また、病院内に「居宅介護事業所」を立ち上げ、病院、訪問看護、居宅と要素がそろったことで、連携が強化された。

一般会計からの繰入金金は4億5,000万円で、前年度より1,700万円の減額となった。

**問** 居宅介護支援事業所の黒字化については。  
**答** 令和3年度は黒字ではあるが、他の介護施設との連携はとれないので単体での黒字は難しい。一方、訪問看護等と連携して相乗効果を上げ、増収を目指していく計画である。

**問** 診療時間の延長の検討は。  
**答** 現在の体制では困難だが、連絡があれば対応している。

**議案第9号**  
令和3年度辰野町介護保険特別会計決算について

◆歳入総額 21億2,664万円  
◆歳出総額 20億5,097万円  
◆歳入歳出差引 7,567万円を翌年度へ繰り越し  
介護保険サービスは、在宅・施設あわせて27,566件の利用。介護予防・日常生活支援事業に地域支援総合事業を継続実施。

**問** 認定が厳しいのでは。  
**答** 上伊那統一基準で認定している。

以上、採決の結果、委員全員一致で認定すべきものと決しました。

## 現場審査した令和3年度事業はこれ！

■保健センター室内照明LED化工事  
事業費 3,426,500円



天井大型照明をLED化した。CO2削減に大きく貢献できた。

■平出越道集会所解体工事  
事業費 7,755,000円



アスベストが全体に使われていて、その除去作業が困難であった。現在は更地となっている。

■南小学校長寿命化改修工事  
事業費 524,546,000円



今後30年使用を想定し新しく生まれ変わった校舎で、子どもたちは生き生きと学習に取り組んでいた。

## 委員会の活動報告（高齢者・交通弱者の移動手段について）

■辰野町社会福祉協議会との意見交換  
・令和4年9月21日（水）

地域たすけあい事業「ゆいっこ」の4月から7月の利用状況の報告を受けた。積極的に地域福祉コーディネーターが地域に出向いてPRするよう提案した。



■伊那市への「ぐるっとタクシー」に関する聞き取り  
・令和4年9月26日（月）

令和2年から正式運行している「ぐるっとタクシー」について利用状況、運用システム維持管理費等の説明を受けた。市民の声を聞き運行方法が改善され、利用が広がっていると感じた。



7月臨時会・9月定例会報告

総務産業常任委員会レポート

福祉教育常任委員会レポート

女性タウンミーティング報告

議会アンケート結果①

一般質問

町民の声

# 女性タウンミーティング 出された要望

9月の議会一般質問で  
2件実現へ！



1 病児病後児保育施設の設置を  
来年度予算に計上へ

2 子育て世代が気軽に立ち寄れて  
コミュニケーションのとれる場所の  
設置を検討

9月議会一般質問で、女性タウンミーティングで出された要望・意見が取り上げられました。議会を身近に感じてもらいたいという、議会活性化の一環で行った女性タウンミーティング。大きな収穫がありました。お母さん達の思いや意見が町を動かしました。

#### ◎町の施設・サービス等に関すること

- ・各地区に子どもが集える場所がほしい。
- ・行政の子育てサポートの情報がバラバラでわかりにくい。
- ・公園施設の充実を。
- ・子どもの医療体制の強化。

#### ◎保育園に関すること

- ・保育延長料金の見直しを。
- ・保育料第3子以降の無償化を望む。
- ・一時保育をもっと使いやすく。
- ・土日のオクレンジャーはやめてほしい。

#### ◎小・中学校に関すること

- ・町全体の小学校統合計画を示して。
- ・小学校の登下校の見守り隊が必要。
- ・タブレットの情報がほしい。
- ・羽北地区にスクールバスを出してほしい。

#### ◎その他

- ・子育て世代の働く場所の確保。
- ・夫の育休がとりにくい。
- ・歩道がデコボコで歩きにくい。
- ・公共交通機関が使いにくい。

## 議会視察研修報告

辰野町議会は北海道で視察研修を行いました。



7/5 旭川市  
農福連携の取り組み

花き生産、水稻育苗、果樹栽培等の現場における障がい者就労支援の説明を受けました。季節労働や健康管理の面など課題も報告されました。



視察資料から

7/6 当麻町  
町産材を使った庁舎

当麻町は、生産・加工・利用まで地域の中で完結する循環型の森林整備を目指し、その事例として庁舎の建設が実現。人に、町に温もりを与える庁舎でした。



7/7 北広島市  
自主防災組織の指導・支援  
ブラックアウトへの対応

自主防災の住民カバー率は84.7%で、年間17～36回防災教室を実施。胆振地震で道全域停電を経験。その時の対応など説明を受けました。



# 議会に関する住民アンケート結果 その①

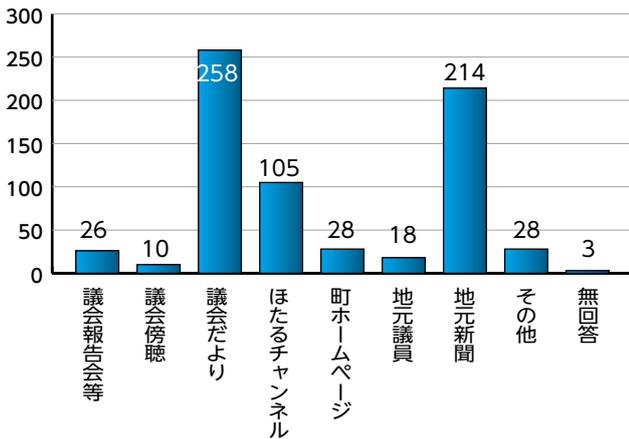
辰野町議会は 2019 年の選挙において、定数割れとなりました。そこで、さらなる議会改革・活性化に取り組んでいます。

健全な行政運営と辰野町発展のために、住民を代表する議会が果たす役割と責務はこれからも重要であると考えます。議員の「なりて不足」解消のための今後の議論の参考にするために、住民の皆様にはアンケート調査を実施しました。

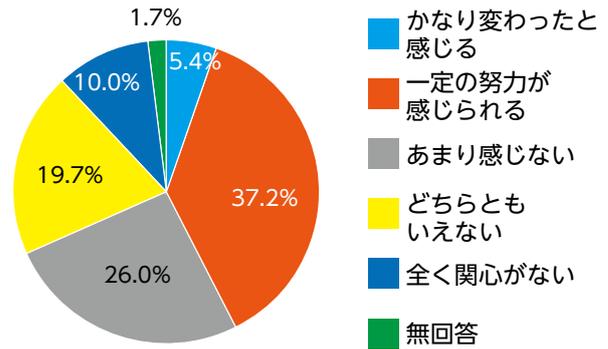
調査対象：辰野町在住 18 歳以上の男女各 500 人（無作為抽出）  
 期間：6 月 27 日～7 月 15 日  
 回答数：406 人（回答率 40.6%）

10 項目中、順不同で掲載しました。残りは次号でお知らせします。

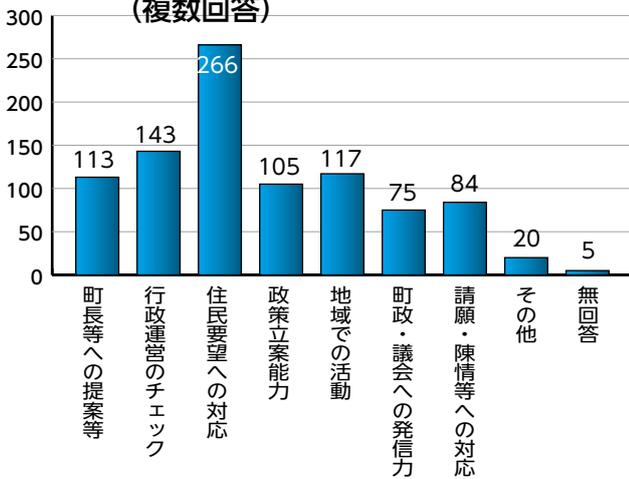
## 質問 1 議会に関する情報は何か（複数回答）



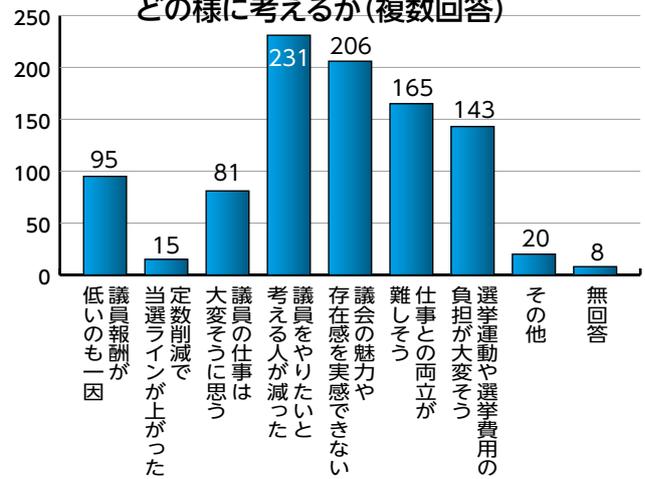
## 質問 2 開かれた議会をめざした日常活動についてどう感じるか



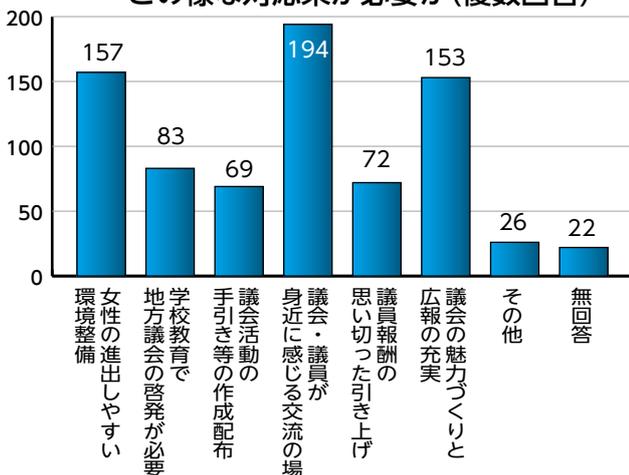
## 質問 3 議会・議員活動で何を期待するか（複数回答）



## 質問 7 議員の「なり手不足」についてどの様を考えるか（複数回答）



## 質問 8 議員の「なり手不足」にどの様な対応策が必要か（複数回答）



## 議会報告会のお知らせ

日時 11月18日(金) 午後6時30分から  
 会場 辰野町役場2階 第6会議

- ◇各委員会からの報告
- ◇意見交換

《テーマ》

地域防災力の課題と取り組み  
 高齢者等の外出・移動支援

多くの皆様のお出かけをお待ちしています。

一般質問には 11 名の議員が登壇いたしました。  
ぜひ各議員の内容をご覧ください。

ホテルが飛び交う自然豊かなまち		
ふるさと納税の返礼品について	山寺	P11
第2期辰野町まち・ひと・しごと創生総合戦略について	池田	P12
空き家等の雑草対策について	古村	P13
ゼロカーボンの取り組みについて	小林	P13
板沢地区最終処分場建設計画について	向山	P14
太陽光発電事業に関連する課題について	向山	P14
街中の親緑（新緑）について	松澤	P14
小野区太陽光発電施設建設について	樋口	P15
みんなが活躍できるまち		
指定管理施設の運営について	小澤	P10
パートナーシップ宣言認証制度について	向山	P14
個人情報保護と情報公開について	向山	P14
いつまでも健やかに暮らし続けられるまち		
がん予防の推進と支援事業について	津谷	P11
ファミリーサポートセンターの拡充について	小林	P13
療育施設の整備について	樋口	P15
エアコン設置補助について	吉沢	P15
福祉灯油について	吉沢	P15
がん検診について	吉沢	P15
次代を担う人材が育つまち		
川島小学校の統廃合について	小澤	P10
	舟橋	P12
	小林	P13
	吉沢	P15
子育て支援について	山寺	P11
子ども、高校生、ママの居場所の設置を	小林	P13
学校給食・保育園給食のあり方について	向山	P14
子育て支援について	松澤	P14
未来の学校の姿と川島小学校統合について	樋口	P15
活力と魅力ある仕事のあるまち		
民間企業との連携協定について	小澤	P10
コロナ第7波・物価高影響への支援について	吉沢	P15
安全で快適に暮らし続けられるまち		
農業集落排水処理施設の維持管理について	小澤	P10
災害時の不安対応と心理的支援について	津谷	P11
生活道路（通学路）の交通安全対策について	津谷	P11
ごみゼロ運動のあり方について	山寺	P11
中央本線（辰野～塩尻間）の赤字について	池田	P12
辰野中学校から宮木駅までの間の中学生の 利便性向上について	舟橋	P12
災害対策について	古村	P13
電力安定需要にむけて	古村	P13
道路渋滞緩和に向けた取り組みについて	古村	P13
危険空き家対策について	吉沢	P15

※今議会から議員は 1 名欠員となりました。



小澤 睦美 議員



川島小学校統廃合後の施設活用策と町の活用方法は

教育長

財産として、区民・町民のために活用

統廃合後の町の教育行政は

**問** 学校規模の分類では、西小が適正規模校で、東小・南小・両小野小は、小規模校である。これらの小学校の教育をどのような方向に導くのか。

**教育長** 学校のあり方を協議する場合、再編成すれば済むというものではない。将来を生き抜く子どもたちの学び、環境から考えていく必要がある。

12月議会定例会に川島小学校設置条例の廃止案上程に至った町長の思いは

**町長** 小学校を残したい思いは同じ。現在の児童数では育ちと学びに課題があり、苦渋の選択をした。現状で統廃合を見送ったとしても、少子化で近い将来見直しが求められる。ここで決着させ、安心して子育てができる町づくりに全力を尽くしたい。

民間企業との連携協定の現状は

**問** ㈱FOOD ARCHITECT LAB(フードアーキテクト ラボ)との連携協定の進捗状況は。

**課長** 本社移転は令和4年度中に門前の空き家へ。加工施設も検討中。今後も農産物の販路拡大や、食品加工などの商品開発、地域ブランドの構築面で連携していく。

指定管理施設かやぶきの館の運営状況と今後は

**問** 地元にとって地域農業、雇用面等地域活性化に無くてはならない施設であるが。

**課長** 7月までの施設全体の利用者は去年の1.23倍だが、燃料や食材の値上がりで収支は赤字。客の戻りは感じるが、まだまだコロナの影響が大きい。今後の取り組みとしては、林間を活用した体験ツアーなど多面的に取り組む。



かやぶきの館

農業集落排水処理施設の維持管理は町で実施を

**問** 先の12月議会、3月議会と要望している処理施設の維持管理並びに使用料徴収を、公平性と地元の負担軽減のためにも町が行えないか。

**課長** 9月21日開催の農業集落排水事業連絡会議にて、今までの要望も含め協議したい。

## 災害時における 支援者への 心のケアは



津谷 彰  
議員

町長

必要に応じ継続した  
サポートが重要

がん予防の推進と支援は

問 国が推奨している5つのがん検診の受診状況は。

課長 胃がん 14.4%、大腸がん 30.6% で伸び悩んでいる。子宮頸がん 27.4%、肺がん 19.1% は伸びている。特に乳がん 34.5% で 10% 以上伸びている。

問 抗がん剤治療などの外見変化をウィッグや補正具などでサポートして自分らしく生きることと、社会参加の両立を応援するためのアピアランスケアの推進は。

課長 現在県において、支援事業を検討するための調査を実施している。県の動向を見て検討する。

問 膀胱がん、前立腺がんの術後など排尿コントロールが難しく尿取りパッドなど使用する方もいる。安心して外出できるように、交換時に廃棄するための男性トイレへサニタリーボックス設置は。

課長 庁舎に6月から設置。今後は町内の公共施設等に設置を進めていく予定。設置理由を記載したポスターなどを掲載し周知していく。

要望 設置は、トランスジェンダーの方への配慮にもつながる。設置理由を男性トイレ入り口やサニタリーボックスに表示を。



庁舎内に設置された  
サニタリーボックス

災害時の不安対応と心理的支援は

問 避難所における要配慮者への心のケアは。

課長 公民館などの避難所に要配慮者ごとのスペースを設けるのは難しい。昨年の8月豪雨では町内避難所に保健師を派遣し、避難所の運営支援を行った。体調に不安を抱いていた方への配慮は、ある程度行えた。

問 サイコロジカル・ファースト・エイド (PFA) の導入を。

町長 災害支援に携わるより多くの方々に PFA の基本的な知識技能を習得するため情報提供や研修の機会を設けることに努める。災害支援チーム TTT への登録者が、今後増えたところで具体的な取り組みを研究していく。

その他

・生活道路（通学路）の交通安全対策は。

## 病児 病後児保育の 施設の設置を



山寺 はるみ  
議員

町長

来年度の予算に  
計上する

子育て支援について

問 7月2日に行った女性タウンミーティングで、町内に病児病後児保育の設置要望があったが、長年の懸案事業。町の考えは。

町長 子育て世代の要望に応じて、辰野病院近くに病児病後児保育の施設設置の関連予算を来年度計上する。合わせて託児所も設置予定。



病児病後児保育の設置予定の辰野病院



問 子育て支援センターの対象年齢の見直しを。

課長 対象年齢の拡大は安全面で心配。引き続き3歳までとする。

問 母親が交流できるママカフェの設置を。

副町長 女性活躍や子育て支援として、子育て世代の女性が、気楽に集まれる場所づくりを考えたい。

ふるさと納税の返礼品について

問 フードアーキテクトラボのふるさと納税返礼品の開発状況は。

課長 まだ本格稼働ではないが、町内産の素材で商品を開発、ブランド化を進めている。

問 食の革命プロジェクトとの関わりは。

課長 作付け、開発、販売を協力して行っている。

ごみゼロ運動の在り方について

問 年2回町民総出で行うごみゼロ運動は、地域差がある。行政主導で町全体の環境美化の組織づくりを。

課長 ごみ拾いだけでなく、地域の美化活動として、認識していただく時期にきていると考えている。周知していく。

問 中学生のごみゼロ運動のかかわり方が曖昧。その参加に係わる指示及び、管轄の所在はどこか。

教育長 地域の活動だから地域がやるべきと考える。

要望 ごみゼロ運動は年に2回の町民総参加の大切な環境美化の作業。中学校は生徒に環境美化の意識付けと、地域貢献の目的をしっかりと指導して、地区生徒会が主導でごみゼロ運動に参加させてもらいたい。

池田 睦雄  
議員



### 創生総合戦略の経過状況は

**町長** 持続可能性のある地域を目指している

**町長** 多様化する働き方の中、企業の動きを的確に捉えていく。地域に新しい考え方や発想・スキルを持つ人材を呼び込み、質の側面からも移住創業の動きをサポートする。

**課長** 4つの基本目標では、「たつので働く」は空き店舗利用が4件と順調。「たつのでつながる」は空き家バンク成約率が77.4%と他自治体より高い。「たつので育てる」は20代～30代の婚姻届が55件、今年度本格活用の結婚マッチングシステムに期待する。「たつので暮らす」は地域づくりなど取組みが30件とコロナ禍でも協働共創のまちづくりが定着している。

**問** 人口減少目標の前年度比1%以内は計画どおりか。

**課長** 令和3年は前年度比205人減、計画は209人減でほぼ計画どおり。自然減が大きく、社会減は変わっていない。健康寿命施策継続と出生数増加の取組みが重要と考える。

#### 人口減少にさらなる歯止め策の考えは

**課長** 若い世代への取組みが鍵。子育て世代にアンケートを実施し、意見を精査し予算化する。

**問** 関係人口創出の取組みは。

**課長** どん田バレーボール大会は、地域内外が一丸となり、主体的に準備から運営を行った成功事例となった。

**問** 一般財源確保に町の魅力発掘は。

**課長** ふるさと納税返礼品に「わけあり品」を取込み、付加価値事例とし追求する。

**問** 学校の机の天板に町産材を活かしては。

**課長** 当町に製材所や加工所はないが、木育は町産材の活用に有意義であり、計画的な施策の中で検討する。



どん田バレーボール大会

#### JR中央本線（辰野～塩尻間）の赤字の受け止めは



辰野駅

**町長** 人口減少で鉄道の利用者はますます減少すると想定される。関係者と協力協働しながら一層の利用促進に努めていく。

舟橋 秀仁  
議員



### テンハウ様の撤去された公衆電話の代替は

**町長** ボラセンと社協の電話を就業時間内は利用可能

**課長** 今後ボラセンと社協の電話を利用可能だが、就業時間内の職員がいる時のみの利用となる。

**要望** 部活帰りの生徒等が利用できる遅い時間帯の利用環境も検討を。

#### 辰中～宮木駅間の時計の設置状況について

**課長** 既に業者へ発注済みだが、納期が遅れている。10月中には設置できる見込み。場所はボラセン前の歩道の花壇内で、支柱を立てて設置予定。

#### 川島小学校の統廃合について

**問** 7月19日の地元懇談会の様子は。

**課長** 約30名参加。統廃合に反対意見の方々が多く来られた。一方統合やむなしと考える方々からも複数意見が寄せられるが、声を上げづらい状況もあると考える。

**問** 少人数、複式学級の長所、短所は。

**教育長** 長所は年上の子が下の子の世話をするなど児童の縦の活動が充実すること。一方極端に人数が減ると複数人による意見交換ができず、自分の意見の修正や補強等が行えない。

**問** 川島小にかかる費用は。

**課長** 昨年度町負担分は約2,000万円。将来の長寿命化改修工事に約6億1,100万円。（平成31年学校施設長寿命化計画による）町負担分は概ね1/3。

**問** 川島小と川島地区存続との関係性は。

**課長** 川島小を知り移住された方もいれば、別の魅力を感じて移住された方もいる。今回存続させても、近い将来必ず見直しの時期が来る。地域の存続、活性化を小学校に過度に依存すべきではなく、今後は地元が主体的に考え、町もできるだけだけの支援をしていく。

**問** 未だ反対の声があるが、町長の決意は。

**課長** 今は地元や保護者の反対の声があっても、町内全ての小学校に必要な経験やチャレンジができる環境を確保し、更なる充実を図る。今回の統廃合は必要不可欠であり、方針を変えるつもりはない。



川島小学校

放置された空き家などの雑草問題は深刻。町の考えは

町長

難しい問題だと思う。区との連携も大切



古村 幹夫 議員



隣接地の草木繁茂に対する相談や苦情に、町はどのように対応しているか

課長 個人の土地や財産には、町も含めて第三者には手が出せないのが現状。所有者と連絡が取りにくい場合などには町が関係者に手入を促している。



所有者が適切な管理を

問 草木の管理に特化した条例の策定や現行条例の運用の見直しはできないか。

課長 環境基本条例や空き家等の適正管理に関する条例において、対応できていると考えるが、必要に応じて充足していきたい。今後所有者の管理責任については、今よりも強く周知啓発していきたいと思っている。

防災訓練から見えた成果とこれからの課題は

町長 成果としては、各部署において必要な手順などの確認ができたことや、自治体DXの取り組みにより情報共有の迅速化が図られたことなどが挙げられる。今回の訓練で確認したことを全職員に浸透させ、災害時に円滑で的確な対応がとれるようにしたい。

問 消防団におけるDXの取り組みは。

課長 団員申告書の電子化から着手していく。災害出動の場面においては、今後上伊那広域消防などと研究していく。

小売電気事業者の事業撤退や破綻が相次いでいる。安定需給に向けた町の取り組みは

課長 エネルギーサービスプロバイダーを介して事業者を選定することにより、万が一の場合にも継続的な供給を担保している。

右折車へ道を譲り渋滞を緩和する「譲り合いゾーン」の設置を検討しては

課長 通行車両に周知ができていないと、かえって渋滞や事故につながってしまう場合もある。辰野交通安全協会などとともに、先進地の事例を参考に検討していきたい。

川島小学校統合の必要性について再整理を

町長

集団の学びの重要性と限りある財源で質の高い教育を目指すため



小林 テル子 議員



川島小学校統合について

問 川島小だけではない、少子化が進み子どもの数が半減する辰野町学校全体像を提示すべきでは。

教育長 あり方検討委員会で概ね10年先の将来像を提示している。まずは方向付けされた川島小学校について整理をしたい。

問 統合は川島小だけの課題ではない。町全体の多様性が認め合えるような未来志向の「辰野町スクールプラン」を描いて提示して欲しい。

教育長 現在も質の高い教育環境を提供している。今後学校に馴染めない児童の居場所も考えている。これらをプランに描けるか検討してみる。

要望 統合に安心と夢の持てる辰野町スクールプランを。



川島小学校の外観

子ども、高校生、ママの居場所の設置を

問 女性タウンミーティングで要望のあった気軽に集える子どもの居場所、ママカフェの検討を。

課長 子育て支援センターは利用者からは良い評価を得ている。一方、高校生やママの居場所はない。トビチ商店街に委託で子どもの居場所が実現できそう。

ファミリーサポートセンターの大型商業店舗での広報活動と、外部委託検討を

課長 7月8日に広報活動を実施し、興味を示した方もいた。そこで幼児のいる家庭に情報を知らせる必要性を感じ、乳幼児健診等で広報を実施中。また外部委託についても、部分委託を検討中。

ゼロカーボンの取り組みは

問 ゼロカーボンの町民にむけての啓発は。

課長 10月9日に初のゼロカーボンイベントを荒神山周辺で開催を予定。

問 地球温暖化対策実行計画の策定は。

課長 事務事業編と区域施設編とある。CO2削減にむけて現在データを集め準備を進めている。

問 町民のできるゼロカーボンの取り組みは。

課長 節電、地産地消、食品ロスの削減、徒歩や自転車での通勤等できることからCO2削減を。

向山  
光  
議員



## 太陽光発電 規制の再検討は

**町長**  
必要性を  
早急に確認する

太陽光発電規制基準の再検討、土地利用の規制を

**問** パワーコンディショナーの能力向上により、町の規制対象外の 30 kW 未満のものでも採算がとれるようになった。分割案件への規制の再検討の考えは。

**課長** 発電出力に拘らず分割案件に該当すれば申請を受け付けない。国の F I T (固定価格買取制度) の認定要件強化の動きも注視する。

**問** 土地利用に関して規制を検討するべきでは。

**課長** 災害防止等、他市町村の事例を研究したい。



樹木を伐採した斜面に設置されたパネル (県内)

板沢最終処分場問題、湖周行政事務組合へ調査の不十分さアピールを

**町長** 地下の浅い部分の解析だけで井出の清水へ影響がないとするのは性急だ。焦らず、じっくりと構え、計画の完全撤回となるよう努力する。

パートナーシップ宣言認証制度の制定を

**課長** 性の多様性について町民の理解を深め、制度化について研究を行っていききたい。

**意見** 顕在化しにくい課題であり、要望のあるなしに関わりなく制度化を進めるべき。

個人情報保護条例改正に向けての考え方は

**課長** 国の法改正に合わせて、町の条例で規定する事項を検討している。

**意見** 個人情報の個人による管理、救済制度が重要。条例改正の検討委員に住民参加を。

自校・自園の給食に関する課題は

**課長** 施設の老朽化や施設基準に合わない、食物アレルギーへの対応が課題。現施設が使える限りは自校・自園給食を続ける。

**意見** 給食のあり方について長期ビジョンを。

松澤  
千代子  
議員



## 町の 子育て支援は

**町長**  
社会変化に対応した  
支援体制を整えていく

**問** 居場所づくりで児童館がほしいとの意見があるが。

**課長** 上伊那地区において児童館の有無は半々で、大方は複合施設として運営されている。当町で令和 2 年度に実施した「子ども子育てニーズ調査」では、放課後の過ごし方は自宅・学童クラブ・習い事であり、土日祝日の児童館使用は希望しないとの結果が出ていたため、今のところ考えていない。手立てとして、未就園児対象には一時的保育事業を実施している。また就園児には延長保育・土曜保育を行っている。

**問** 未満児が受け入れてもらえない状況があったとのことだが、待機児童がいるのか。

**課長** 現在は定員に満たない状況が続いているため、待機児童はいないと認識している。しかし、転勤などによる年度途中の未満児受け入れは、保育士数の問題があり、早急な保育士確保が困難なため、難しい。また兄弟で別々の保育園に振り分けられ迎えが間に合わず延長料金が発生した事例については、ゼロ歳児保育をやっていない保育園もあるため生じたことだと思う。今後はこのような不都合が生じない改善策を研究していききたい。

街中の親緑 (新緑) について

**問** 辰野駅周辺の桐の木の枝が高圧線に接触しており、大変危険なため、早急に伐採を。

**課長** ど真ん中みらい会議 2021 で「くろもじの会」から提案された緑と触れ合う機会の活動は、周辺の環境整備に繋がっている。桐の木の伐採では時間がかかり不便をかけている。町有敷地内の木の枝が JR 敷地の架線に接触しているため、どのような工事が適切か、技術的な検討をしてきた。安全を考え再度 JR に確認して検討をしているところなので理解してほしい。



高圧線に接触している樹木

## 小野区太陽光発電 施設現場の今後の 対応は

町長

顧問弁護士の指導を  
いただき対応する



樋口 博美  
議員



### 太陽光発電の現状は

問 条例制定後の動きは。

町長 他の自治体でも条例制定の動きが見られる。

課長 令和2年度10件、令和3年度7件、令和4年度3件の申請があった。不適切な工事も見られ、課題も新たに出ている。

問 不適切工事の業者公表は。

課長 ホームページで公開。今後は新聞等で公表し、合わせて国・県へも報告していく。

要望 景観・防災の面からも規制を。また違反した物件の電力を買わないようにする施策も必要と考える。30KWにこだわらず、全てのものに規制をかける事も検討を。



小野区森林伐採現場

### 療育施設整備を

問 支援が必要な方の支援体制は。

課長 出産後から全ての子どもを確認して対応し、支援が必要な子どもには子育て支援会議をとおして、こども課とも連携して対応している。

課長 小中学校では専門職を派遣して、就学向け相談している。教育支援委員会で学びの場を決めていく。

問 児童発達支援センター設置の計画は。

課長 民間が計画している。資格者の確保が課題となっている。人材の育成も含めて検討していく。

### 未来の学校の姿と川島小学校統合は

問 子ども基本法の内容と町の取り組みは。

教育長 子どもの権利を広く認めている。校則、制服の見直し等も協議してみたい。

問 未来の学校設置のビジョンは。

町長 多くの友とふれあい、様々なことを経験できる学びの場を提供していく。新しい経験や豊かな発想が生まれるような教育の場を提供していく。将来の児童数を踏まえ、教育委員会と共に適正配置を検討していく。

要望 未来の学校、学びの姿を若者の意見を聞き、ビジョンの策定を。

## コロナ第7波・ 物価高騰に 支援を

町長

融資返済困難者や  
困難業種へ支援検討



吉沢 光雄  
議員



問 コロナ特例融資返済に困る事業者への支援や、困難業種への追加支援策は。

町長 特例融資は89件の利用があるが、返済は順調。今後も関係者と情報共有し、支援に取り組む。

### 高齢者にエアコン設置補助を

課長 補助実施は県内1市のみで、町の計画はない。県の省エネ家電ポイント制度など利用を。



高齢者に欲しいエアコン

### 福祉灯油券の支給基準と対象者・用途の拡大を

課長 基準額や対象者の拡大はできない。車両燃料へも使えるようにする事については、検討する。

### 子宮がん検診改善

問 伊那、南箕輪、中川、塩尻、岡谷、下諏訪は毎年検査を続けている。毎年受診希望者に支援を。

課長 人間ドック補助の利用などで対応願いたい。

### 危険空き家への連絡、指導の実態は

課長 今年度71件の解体補助金を交付。連絡先不明やわかっても連絡が付かないなど苦慮している。区と協力し、対応していく。

### 川島小学校統廃合問題

問 統合すればより良い教育ができるというが、証明できるのか。

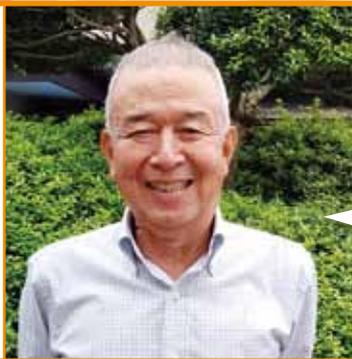
教育長 人様々なので、データや証明は難しい。統合すれば同学年で学び合う教育環境は得られる。

問 区民の7割から存続要望署名が出され、7月の地元懇談会でも統合反対が大半だった。それでも地元の多数は統合容認だと言うのなら、町でアンケートを取って町民に示すべきでは。

町長 統合やむなしという意見は出しにくいと聞く。複雑な問題なので、アンケートはしない。

要望 町の将来にかかわる問題で、無くせば終わりだ。強引に進めればしこりが残る。状況は大きく変わった。改めて教育の将来像、小中学校の配置計画を検討した上で結論を。

根橋 金久さん(北大出)



農業に興味を持ち、職業として立ち上げ、アイデアを加え発展させていく若者がいるこの町が誇りに思えます。辰野の農産物をブランド品として成功させてほしいし、辰野にしかない加工品が、土産物になるといいと思います。やる気のある若者が町を支えているということが、自慢のできる事です。

吉田 陽子さん(小野)



辰野町が気に入って移住し、8年になります。今年6月から移動販売を始め、毎週水曜日に役場駐車場にて出店しています。お客様との楽しいおしゃべりや帰宅途中に顔を見せてくれる小学生との関わりなど、町の好きなところがまた増えて以前よりも辰野暮らしを楽しんでいます。

松尾 睦美さん(宮木)



辰野町のこれが好き



私が辰野町に住みはじめたのは13年前。来た時には商業施設が少ない事に驚きました。でも住み始めて立地がそうさせているのかなと感じました。どこに行くにも便利で逆に住みやすいと思いました。さすがど真ん中!この特徴が活かされて観光や移住で人が増え、もっと賑やかになっていくといいなと思います。

瀬戸 拓真さん(赤羽)



辰野町の好きなところは、遊びに行く時などは近隣に出やすいし、一番好きなところは、とても住みやすい町だと思います。今年の夏に蛇石のキャンプ場に行きましたが、自然が豊かでもとても良かったです。また、僕らの先輩方のおかげで商店街は本当に活気が溢れてきたと思います。友人におすすめしたいです。

清水ひとみさん(下辰野)



高齢者が楽しめる場所がたくさんあります。ポラセンや茶の間、フューチャーセンター等、そこで行われる様々な講座と公民館活動が有意義な時間を与えてくれます。友達がたくさんできて、楽しい毎日を送っています。

次回定例会のご案内 12月定例会予定

- 開 会 11/29(火)
- 一般質問 12/6(火)・7(水)
- 委員会審査 12/8(木)・9(金)
- 閉 会 12/15(木)

※確定した日程は議会ホームページ等でご確認ください

編集後記

温暖化による異常気象と災害の頻発を実感します。好きな山の雪も減っています。取り返しがつかなくなる前に、個人として、町として何をすべきか、皆さんと模索し、実行したいと思います。  
議会広報編集委員 吉沢 光雄

皆様からのご意見・ご要望お待ちしております。議会事務局までお寄せください。